

国際会計人材ネットワーク 第3回シンポジウムの開催

当財団では、2017年4月にIFRSに関して国際的な場で意見発信できる人材をプールするために「国際会計人材ネットワーク」を構築しており、同ネットワークの登録者は、本年2月1日時点で949名（企業の役員・従業員101名、公認会計士・監査法人勤務者781名、証券アナリスト25名、会計基準設定主体の委員・研究員26名、官庁の行政官15名、学識経験者1名）となっている。

2019年3月14日、同ネットワークの登録者を対象に「国際会計人材ネットワーク第3回シンポジウム」を開催した。同シンポジウムは、「国際的な会計・監査プロフェッションに向けて」をテーマとして実施し、はじめに三井秀範 金融庁企画市場局長より基調講演をしていただいたのち、国際的な会計・監査の世界でグローバルに活躍されている方々にパネルディスカッションを実施していただいた。本稿では、同シンポジウムの概要についてご紹介する。

【国際会計人材ネットワーク 第3回シンポジウム】

- 基調講演 _____ 金融庁企画市場局長 みつ い ひでのり 三井 秀範 53
- パネルディスカッション
「国際的な会計・監査プロフェッションに向けて」 _____ 58
- 懇親会 _____ 61